

平成 25 年 8 月 1 日 16:00 現在
中国地方整備局 災害対策本部

平成 25 年 7 月 28 日 豪雨による中国地方整備局管内の体制及び災害状況等

1. 本部体制

- ・平成 25 年 7 月 28 日 9 時 10 分
災害対策本部（風水害）を設置。注意体制。
- ・平成 25 年 7 月 28 日 11 時 05 分
災害対策本部内に支援連絡室を設置。
- ・平成 25 年 7 月 28 日 12 時 20 分
警戒体制に移行。
- ・各班の状況
河川班は 7 月 28 日 9 時 10 分に注意体制を発令し、以降継続中。
道路班は 7 月 28 日 10 時 28 分に注意体制を発令、13 時 25 分に警戒体制に移行し、以降継続中。

2. 中国管内での気象警報・注意報発令状況

●鳥取県

- ・8 月 1 日 14:13 鳥取地区 大雨警報発令

●島根県

- ・8 月 1 日 8:44 大田市、雲南市、奥出雲町、飯南町 土砂災害警戒情報発令
- ・ 11:23 美郷町 土砂災害警戒情報発令
- ・ 13:12 江津市 土砂災害警戒情報発令
- ・ 13:40 川本町 土砂災害警戒情報発令
- ・8 月 1 日 12:14 雲南、大田邑智、浜田地区 大雨洪水警報発令

●広島県

- ・8 月 1 日 14:03 備北地区 大雨警報

3. 中国地方整備局管内各事務所、ダム管理所の防災体制状況

●警戒体制以上

- ・中国技術事務所 警戒体制 7 月 28 日 12 時 20 分発令 本部警戒体制に伴う。
- ・山口河川国道事務所（道路） 警戒体制 7 月 28 日 10 時 20 分発令
管内国道で全面通行止め。

●注意体制

- ・上記事務所以外 注意体制発令（7月31日9時00分）
支部から **TEC-FORCE** 隊員及び災害対策用車両等の派遣が想定されるため。
- ・鳥取河川国道事務所（道路） 警戒体制 8月1日8時20分発令 11:00 注意体制に移行。

4. リエゾン派遣状況

●島根県

- ・益田土木へ 浜田河川国道事務所より2名派遣（29日まで）
- ・島根県庁へ 松江国道事務所より1名派遣（29日まで）
- ・津和野町へ 総務部1名、河川部1名派遣

●山口県

- ・山口県庁へ 山口河川国道事務所より2名派遣（30日まで）
- ・萩市へ 出雲河川事務所1名、用地部1名派遣（8月1日より）
- ・山口市へ 岡山国道事務所1名、営繕部1名派遣（8月1日より）

5. 中国地方整備局管内各被災状況

●直轄河川

- ・高津川（神田） 28日11時40分に避難判断水位（5.00）を超過。
ピーク水位 5.45m。
- ・白上川（内田） 28日13時40分に避難判断水位（3.90）を超過。
ピーク水位 4.11m。
- ・高津川水系白上川南田川水門 排水ポンプ車（30m³/min）1台で15:00作業開始。18:10に休止。21:15帰還格納。
- ・各河川での巡視の結果、異常なし。

●直轄国道

- ・国道9号山口市阿東地福上（547.4～549.0km）路面冠水により28日10時20分に通行止め。28日19時07分に開放。
- ・国道9号益田市神田町三星地内～津和野町日原地内で規制雨量に達したため通行止め。28日18時00分に開放。
- ・国道9号山口市阿東地福下箇所にて路肩崩壊のため、29日12時00分から通行止め。13時30分に片側通行。
30日20:00～翌5:30 路肩崩落部の大型土のう120/120袋設置完了。
31日8:00～ 路肩崩落部のブルーシート設置及び大型土のう製作開始。
- ・国道191号（127.0～143.0km）で冠水、土砂崩落により7月28日11:40から通行止め。
被災状況は道路冠水4箇所、トンネル冠水2箇所、土砂崩落9箇所、道路崩

落 1 箇所、倒木 1 箇所、放置車両 19 台。

国道 191 号道路啓開作業のため、16 時 30 分に山口照明車 2 台を萩国道出張所へ、20 時 00 分に浜田照明車 1 台を萩市須佐地内へ派遣指示し、浜田照明車は 29 日 2 時 00 分に帰還。

29 日 5 時 30 分の状況は、通行止め区間 130.0～135.0k。道路崩落 1 箇所、土砂崩落 2 箇所。その他箇所については、道路啓開（1 車線確保）または復旧済み。16 時 00 分現在で放置車両 0 台。

30 日 8 時 00 分応急復旧開始。

31 日 8:00 昨日に引き続き伐採、水路内土砂撤去実施。

31 日 11:20 近畿地整の照明車 1 台が萩市須佐の現場に到着。

31 日 15:35 中国技術事務所より萩市須佐に向けて対策本部車 1 台を派遣し、19:05 現地到着。

31 日 16:00 伐採完了。水路内土砂撤去中。

8 月 1 日 8:00 現在、水路内の土砂撤去中。完了後、迂回路及び盛土予定。

8 月 1 日 15:00 仮設カメラ設置。

8 月 1 日 16:00 現在、迂回路の法尻に土嚢を設置中。崩壊部モルタル吹き付けは準備中。

●直轄港湾

・被害無し。

● TEC-FORCE 派遣等 29 日～

中国地方整備局より

・ヘリコプター上空調査

29 日 あいらんど号、きんき号による調査。地整職員 7 名、島根県職員 1 名、山口県職員 2 名搭乗。

30 日 あいらんど号による調査 地整職員 4 名搭乗。

31 日 あいらんど号による調査 地整職員 2 名、島根県職員 3 名搭乗。

TEC-FORCE 被災状況調査班

【中国地方整備局】

指令班（2 班）、河川班、砂防班、道路班、広報班の計 6 班 23 名派遣

29 日 8:00 本局災害対策室集合（防災課より説明、出動準備）

9:00 出発式

11:40 砂防班、広報班 山口国道維持（出）着。情報収集。

11:50 指令班① 山口県庁着 調査箇所棟調整。

11:50 道路班 萩国道（出）着。国道 315 号道路被災状況確認。

- 12:20 河川班 山口国道維持(出)着。情報収集。
- 12:25 指令班② 島根県益田県土整備事務所着。調査箇所等調整。
- 15:50 指令班①、萩市から道路調査の依頼あり。各班と分担調整。
- 30日 河川班、砂防班、道路班は萩市の須佐地区の被災状況調査を実施中。
指令班①、②については、引き続き各県、市、地整 TEC-FORCE との調整を実施。
- 河川班：10:00 萩市須佐総合事務所で打合せ後、調査開始。被災延長は5km程度。
- 砂防班：10:00 萩市須佐地区弥富箇所を調査するが、土石流の発生は見られない。→河川の被災状況調査を実施
- 道路班：8:30 出張所集合。県より敷地調査結果内容を県より入手し、10:25から国道315号を調査実施。応急復旧方法検討、概算額算出
- 指令班①：17:00から津和野町で支援内容打合について町建設課、リエゾン、近畿 TEC 指令班と打合せを行う。
- 31日 河川班、砂防班
8:00から萩市須佐地区の河川被災状況調査を実施。
道路班
県道宇田須佐線の啓開状況調査実施
国道315号概算額算出作業
- 8月1日 河川班：萩市須佐総合事務所管内の河川被害状況調査を実施。
砂防班：萩市須佐総合事務所管内の河川被害状況調査を実施。
道路班：萩市須佐(唐津)地区の国道315号関係の被害状況調査を実施。
第2陣として、河川班(5班)、砂防班(1班)、道路班(4班)、広報班(2班)の計12班43名を派遣(増強)。(9:00本局出発)
現地到着後、先遣の指令班①②と調査箇所等について打合せを実施。

【近畿地方整備局】

- ・TEC-FORCE 被災状況調査班、応急対策班等
7班 全26名。照明車5台、対策本部車1台
→6班 全24名。
- 29日11:00 中国道安富PAに集合。
17:00 島根県益田県土整備事務所に着。災害対策会議参加。
- 30日 9:30 高津川の直轄境から本川上流へ向け、被災状況調査に着手(5班体制)。

- 31日 指揮班・津和野町役場日原第2庁舎において、現地調査に入る前の調整を行う（調査箇所確認・台帳・図面等の受け取り）
- 8：50 津和野土木事業所に集合し、昨日の調査進捗状況等について打合せ・打ち合わせ終了後
河川2班は高津川での残調査を実施
その他4班（道路1,2,3班、河川1班（砂防班含む））は津和野町役場日原第二庁舎に集合し、打ち合わせ後、現地調査に着手
- 12：30 道路班が津和野町所管の道路102.5km、河川14.8kmの調査開始。
- 8月1日 河川班：高津川上流の津和野町木部地区の調査を実施。
道路班：津和野町畑迫箇所の調査、津和野・小川地区の調査を実施。
機械班：国道191号 萩市須佐で照明車稼働を7月31日19:30～8月1日夜明けまで稼働。その後、近畿地整に向け帰還（8：30出発）。

【四国地方整備局】

- ・TEC-FORCE 被災状況調査班、応急対策班等派
- 6班 全25名。
- 29日14：00 四国本局発。
- 17：25 中国地方整備局到着。本部にて打合せ。
- 30日 7：00 山口県庁、萩市むつみ総合事務所、同市須佐総合事務所へ向け出発。
- 9：15～ 県庁で打合せ。各出先事務所で打合せ。
- 10：40 道路班調査開始。特に道路班は、（県より早く応急復旧をまとめてほしいとの要望を受けており、）日没間近までしっかり、現地調査を行うとのこと。
- 11：15 河川班、砂防班調査開始。
- 31日 道路班1：萩市むつみ地区 現地調査及び資料整理（災害概要調査）
道路班2：萩市須佐地区 現地調査及び資料整理（災害概要調査）
河川班、砂防班：萩市むつみ地区 現地調査及び資料整理（災害概要調査）
広報班：現地調査班に随行

総合指令班：山口県庁にてTEC支援

- 8月1日 道路班1：萩市弥富地区の現地調査及び資料整理（災害概要調査）
道路班2：萩市須佐地区の現地調査及び資料整理（災害概要調査）
河川班、砂防班：萩市むつみ地区資料整理（災害概要調査）
広報班：現地調査班（萩市須佐、弥富地区を予定）に随行
総合指令班：山口県庁にてTEC-FORCE支援

【九州地方整備局】

- TEC-FORCE 被災状況調査班、応急対策班等
 - 9班 全36名。照明車2台、排水ポンプ車2台、衛星通信車1台、ku-SAT1台、待機支援車1台
 - 8班 全34名。衛星通信車1台、ku-SAT1台、待機支援車1台
 - 29日10:35 九州本局発。
 - 13:15 山口河川国道へ到着。
排水ポンプ車2台、待機支援車1台は防府国道維持（出）へ移動。照明車1台は萩国道（出）へ。照明車1台山口国道維持（出）へ。
 - 20:30 衛星通信車1台を萩市須佐箇所では稼働開始。継続稼働中。
 - 20:15 照明車1台を山口市阿東町に派遣し23:05まで稼働。
 - 30日 9:00 萩市の田万川地区等の被災状況調査実施予定。
県道332号、県道14号、萩市田万川支所の周辺と大きくは3箇所では活動開始。
 - 31日 河川班②：県道14号 高岩橋の仮復旧工法の検討、成果品引き渡し予定。
道路班②：県道332号 十種ヶ峰の復旧工法の検討、成果品引き渡し予定。
河川班①、道路班①③、砂防班：萩市田万川総合事務所 管内の被災箇所調査を継続。
情報通信班：国道191号 萩市須佐で衛星通信車稼働を継続。
 - 14:00 九州地整からの排水ポンプ車2台、照明車2台の帰還を決定。
 - 18:40排水ポンプ2台、19:40照明車2台を九州地整（九州技術事務所）に帰還。
 - 8月1日
 - ・河川班②：県道14号成果品引き渡しを実施。その後、萩市田万川総合事務所管内の被災箇所調査に合流。
 - ・道路班②：県道332号の復旧工法の成果品引き渡しを実施。

その後、萩市田万川総合事務所管内の被災箇所調査に合流。

- 河川班①、道路班①③、砂防班：萩市田万川総合事務所管内の被災箇所調査継続。
- 情報通信班：国道191号 萩市須佐で衛星通信車稼働を継続。
17：00から中国地方整備局災害対策本部へ現地進捗状況の報告を実施。

TEC-FORCEの活動状況について



中国地整(7/31津和野町)



中国地整(7/31道路班調査)



近畿地整(8/1河川班調査)



近畿地整(8/1河川班調査)